

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-510153 (P2018-510153A)

【公表日】平成 30 年 4 月 12 日 (2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-014

【出願番号】特願 2017-548049 (P2017-548049)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 K 31/423 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

C 1 2 N 5/071 (2010.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 31/423

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/12

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 N 9/99 Z N A

C 1 2 N 5/071

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 20 日 (2019.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の活性薬剤と、第 2 の活性薬剤とを含む医薬組成物であって、前記第 1 の活性薬剤が、ロフルミラストであり、前記第 2 の活性薬剤が、P D E 4 B 2 の発現又は活性を阻害する、前記医薬組成物。

【請求項 2】

第 2 の活性薬剤が、P D E 4 B 2 の活性を阻害するアルケニルジアリールメタン (A D A M) 化合物、又はその誘導体である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

A D A M 化合物が、A D A M 5 又は A D A M 6 である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

第 2 の活性薬剤が、デキサメタゾン、クルクミン、又は H I F - 1 インヒビターである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

第 2 の活性薬剤が、P D E 4 B 2 の発現を選択的に阻害する核酸分子である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

第 2 の活性薬剤が、プロテインキナーゼ A 触媒サブユニット (P K A - C) の発現若しくは活性、又は P K A - C の N F B p 6 5 との相互作用を阻害する、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

5 0 0 m c g 未満のロフルミラストが、単位投与剤形に含まれる、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 8】

ロフルミラスト、P D E 4 B 2 の発現又は活性を阻害する第 2 の活性薬剤、使用説明書を含み、かつ、任意に、前記ロフルミラスト若しくは第 2 の活性薬剤を患者に投与する際に用いられる希釈剤、送達デバイス、又はドレッシング材の 1 又は 2 以上を含むキット。

【請求項 9】

P D E 4 B 2 を安定的に過剰発現する、単離された細胞。

【請求項 10】

樹立細胞株の細胞であり、任意でヒト細胞である、請求項 9 に記載の単離された細胞。

【請求項 11】

炎症性肺疾患の治療剤であって、ロフルミラストと、P D E 4 B 2 の発現又は活性を阻害する第 2 の薬剤とを組み合わせる含む、前記治療剤。

【請求項 12】

炎症性肺疾患が、慢性閉塞性肺疾患 (C O P D) である、請求項 1 1 に記載の治療剤。

【請求項 13】

C O P D が、無莢膜型インフルエンザ菌 (Haemophilus influenza) 感染と関連している、請求項 1 2 に記載の治療剤。

【請求項 14】

ロフルミラスト及び第 2 の薬剤が、単一投与剤形に統合されている、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれかに記載の治療剤。

【請求項 15】

ロフルミラスト及び第 2 の薬剤が、同一又は異なる投与経路により、同時に又は連続して投与される、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれかに記載の治療剤。

【請求項 16】

ロフルミラストが、経口投与され、かつ第 2 の薬剤が、肺に直接投与される、請求項 1 5 に記載の治療剤。

【請求項 17】

第 2 の薬剤が、吸入により肺に直接投与されるように、乾燥粉末として製剤化されている、請求項 1 6 に記載の治療剤。